

フォーサイド グループ 2020年12月期第2四半期 決算説明資料

補足説明資料



2020年12月期第2四半期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

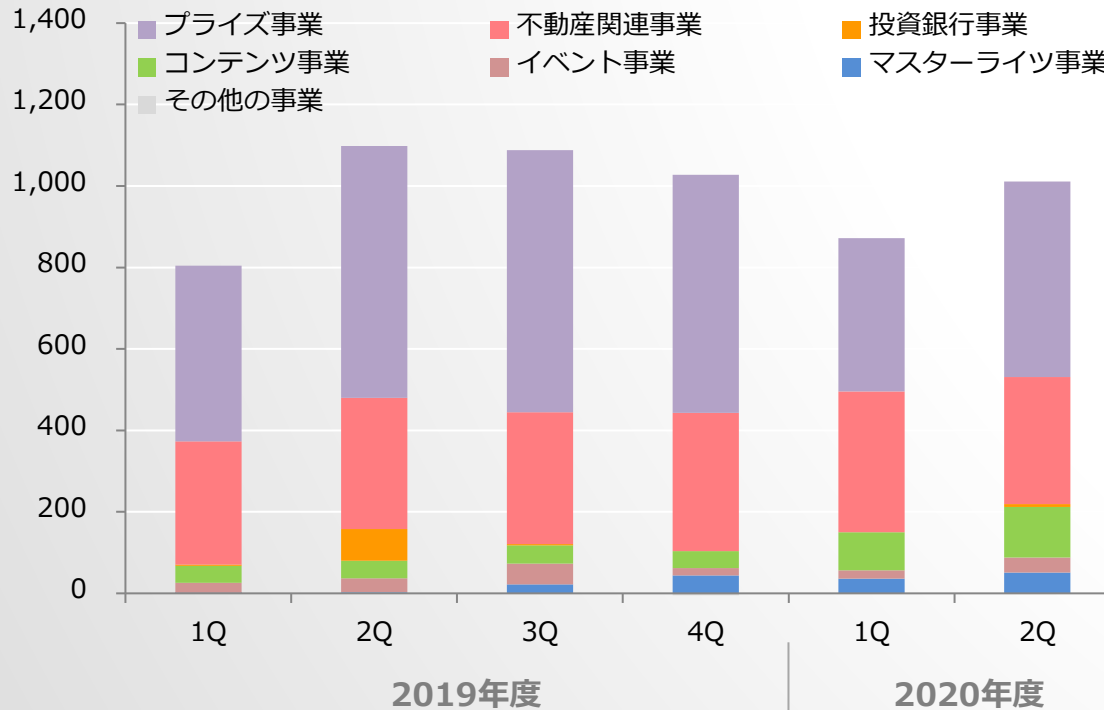
	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	1,924	1,889	98.2%	<p>2020年12月期第2四半期においては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けたものの、不動産関連事業が堅調に推移したことに比べ、映像制作事業が新たに加わったこと等により、営業収益は前年同期比98.2%、営業総利益は95.0%の微減に留まった。</p> <p>利益については、営業収益の減少や投資銀行事業での案件成約数が当初計画に対し低調に推移したこと等から、営業利益の確保にはいたらなかった。</p> <p>また、固定資産及びのれんの減損損失、貸倒引当金繰入額並びに投資有価証券評価損を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は、前年比で大幅に悪化した。</p>
営業総利益	875	831	95.0%	
販売管理費	872	928	106.3%	
営業利益	2	△97	—	
経常利益	23	△51	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△111	△346	—	

2Q（4月-6月）では営業利益を確保したものの、1Qの営業損失を補うまでにいならず1Qで計上した多額の特別損失により、純利益は大幅な赤字に

営業収益の推移

セグメント別の主な増減要因

(単位：百万円)



新型コロナウイルスの影響を受けたものの
営業収益は前年比で微減にとどまる

プライズ事業

※プライズ事業では、2020年4月以降、取引先の多くが休業を余儀なくされたことにより、G.Wに向けた販売実績が低調に推移。休業要請解除後は、取引先の営業再開に伴い、出荷を再開するも前年比で減収減益となる。

不動産関連事業

※不動産関連事業では、2020年4月の民法改正等により、新規獲得件数及び保証債務残高は堅調に推移。また、新型コロナウイルスの影響で家賃滞納者が増加することが予想されたが、顕著な増加は見られず、前年比で増収増益を達成。

投資銀行事業

※投資銀行事業では、案件及びクライアントを国内にしぼり、成約に注力するも、売上高及びセグメント利益ともに前年比で大幅に減少。

コンテンツ事業

※コンテンツ事業では、在宅での娯楽需要の高まりをうけ、電子書籍は堅調に推移。一方、映像制作事業においては、緊急事態宣言の発出により多くの撮影が延期又は中止になった影響をうけ、前年比で増収減益となる。

マスターライセンス事業

※マスターライセンス事業では、新たな取り組みとして、無観客ライブの配信やオンラインでのグッズ販売を開始し、好調に推移。出版事業においては、緊急事態宣言の発出により撮影が中止となるも、前年比で増収を確保し、赤字幅は大幅に縮小。

イベント事業

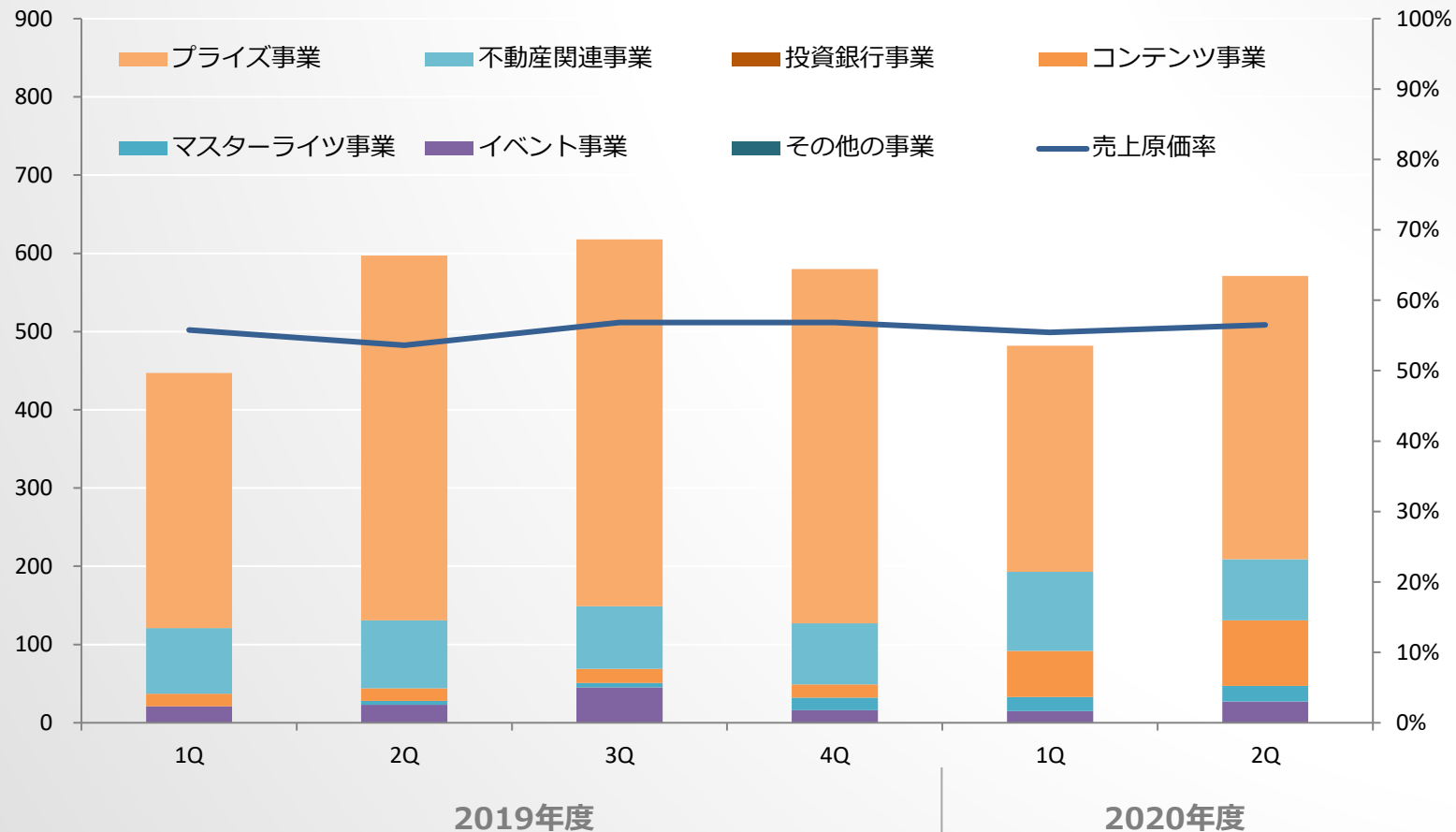
※イベント事業では、新型コロナウイルスの影響で、いくつかのイベントにおいて中止や延期が余儀なくされ、前年比で減収減益にとどまる。

その他の事業

※金融事業では、貸付金の回収に注力し、販売管理費用の抑制に努めるも、前年比で減収減益となる。

原価の推移

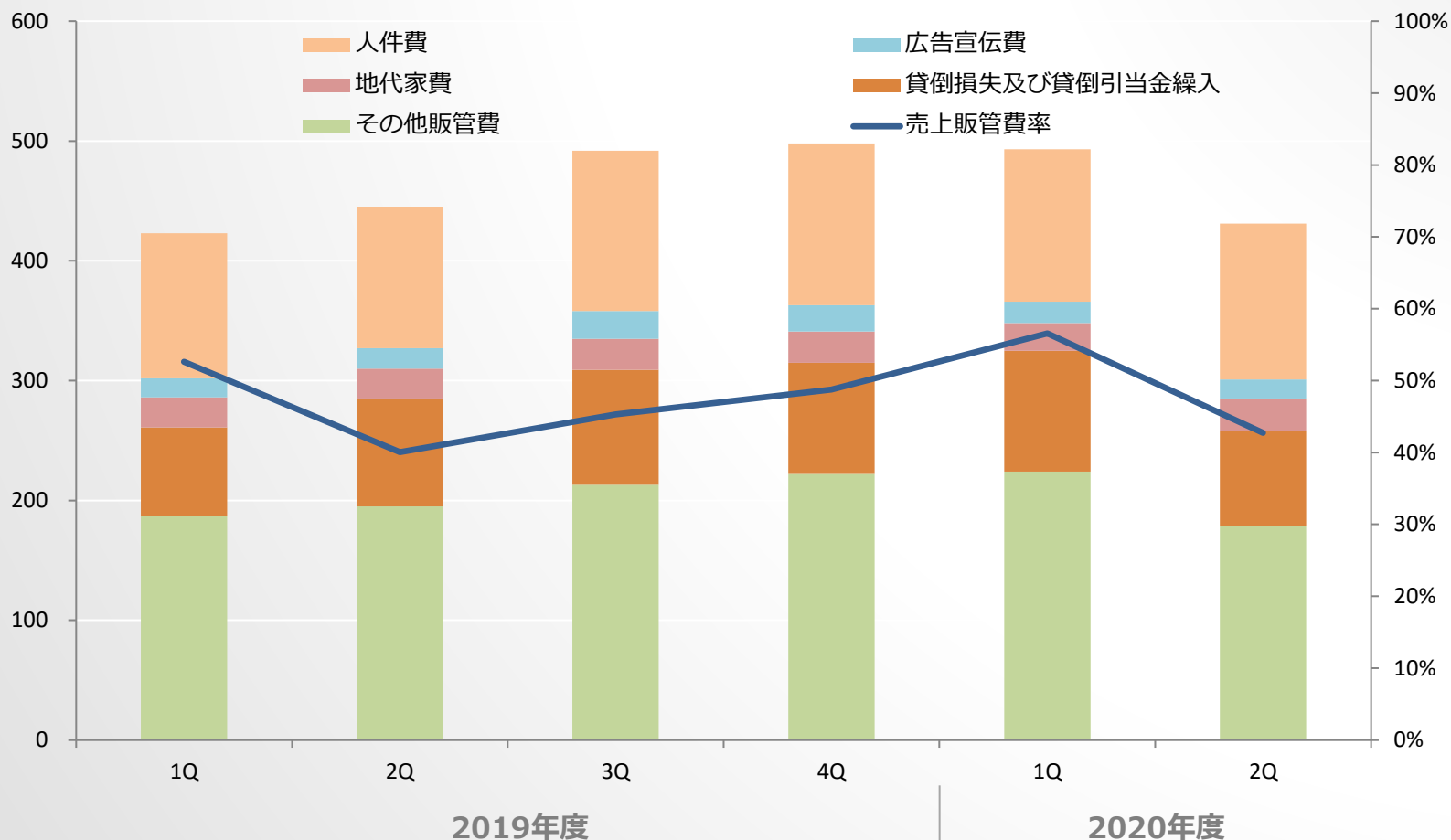
(単位：百万円)



コストの見直しを継続的に実施し、売上原価率の抑制に努める

販売管理費の推移

(単位：百万円)



映像制作事業が加わったことで、グループ全体での販売管理費は増加したものの
個社別では、一層の費用削減を達成。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年度 12月期	2020年度 第2四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資産	3,687	3,555	△132	資産については、現金及び預金の増加166,033千円、投資有価証券の減少182,940千円及びのれんの減少170,050千円等により、前年度末に比べ132百万円の減少となった。
負債	2,262	2,458	196	負債については、長期借入金（1年以内返済予定含む）の増加175,614千円等により、前年度末に比べ196百万円の増加となった。
純資産	1,425	1,096	△329	純資産については、親会社株主に帰属する四半期純損失346,988千円等を計上したこと等により、前年度末に比べ329百万円の減少となった。

(注) 2020年8月14日現在、発行済株式総数は32,557,704株、資本金は1,432百万円、資本準備金は1,973百万円です。

当期純損失の計上により、純資産が大幅に減少



2020年12月期の業績見通し

2020年12月期の業績見通し

2020年12月期通期における当社グループの業績につきましては、第1四半期はプライズ事業、不動産関連事業が期初よりグループ全体を牽引し、音楽関連事業、映像制作事業等による収益の多元化が進んだことで、堅調に推移しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループの販売計画の実行及び営業活動の減速を余儀なくされている状況が続いており、その影響額を正確に把握することは極めて困難であることから、2020年2月14日に公表した業績予想を2020年5月15日に一旦取り下げ、未定とさせていただくことにしました。

なお、業績予想の開示につきましては、予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。



参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会社名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所在地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設立日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資本金

1,432,534,136円 (発行済株式総数32,557,704株)

経営陣

代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信彦 常務取締役 飯田 潔
取締役 吉田 生喜 取締役 濱田卓二郎
常勤監査役 法木 右近 監査役 田辺 一男 監査役 瀬山 剛

顧問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事業

- ・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
- ・投資銀行業務

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・制作・販売/イベント企画・運営
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・(株)モビぶっく：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業
- ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：M&Aのアドバイザー業務
- ・フォーサイドリアルエステート(株)：不動産投資事業/不動産販売事業/管理事業
- ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業
- ・フォーサイドメディア(株)：出版事業、映像制作事業



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。